

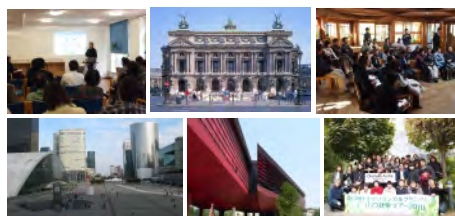
第15回 フランス・パリ エコbau建築ツアー 2011

France Paris Eco-bau Tour 2011.9.18-9.26

暮らしと自然がつながるための建築を求めて



「これからの建築」を
日本に連れて帰ろう！



第15回エコbau建築ツアー 実行委員会

第15回フランス・パリエコバウ建築ツアー日程表 2011年9月18日～25日

日付	場所	プログラム (建築家・建築年)
9 / 18(日)		成田・関空から出発 ～ パリ (ヨーロッパ内乗継)
9 / 19(月)	フランス・パリ 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 経済、社会、環境協議会 イエナ宮殿 (Auguste Perret 1937-1946) ■ 建築と国立市遺産 現代建築のギャラリー ■ パリ・オペラ座 ガルニエ宮 (Charles Garnier) ■ 19世紀の都市化 (Georges-Eugène Haussmann)   
9 / 20(火)	フランス・パリ 	<ul style="list-style-type: none"> ■ アドバンスシアビジネススクール (Architecture Studio Alan Bretagnolle) ■ ケ・ブランリ美術館 (Jean Nouvel 2006) ■ 元変電所のリノベーション (Emmanuel Saadi 2007)  
9 / 21(水)	フランス・パリ 	<ul style="list-style-type: none"> ■ サン・テグジュペリスクール (Emmanuelle Patte.) ■ シュタイナーズクール (フランス) ■ GREEN OFFICE グリーンオフィス (Ion Enescu)  
9 / 22(木)	フランス・パリ 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 社会住宅 パリ20区 (Pascal Gontier 2010) ■ ラ・デファンス・パリ ■ パッシブハウス 木造オフィスビル (Alto Ingenierie 2009)   
9 / 23(金)	フランス・パリ 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Fr e quel-Fontarabie,パリ (Eva Samuel) ■ ZAC Pajol ■セミナー サスティナブル  
9 / 24(土)		■ ショッピング
9 / 25(日)		パリ ～成田・関空 26日(月)朝到着

France Paris Eco-bau Tour 2011.9.18-9.26



第15回 フランス・パリ エコバウ建築ツアー 2011

France Paris Eco-bau Tour 2011.9.18-9.26

地球にも住む人にもやさしい、 建築の未来を探求する9日間の旅

ヨーロッパドイツを中心に、これまで多くの建築業界の方々と共にしてきたエコバウ建築ツアー。今年は、ドイツの隣国フランス・パリに舞台を移します。2007年に開催された「グルネル会議」を機会に持続可能な社会、エネルギー消費削減へ大きく踏み出したフランス。地球温暖化防止・CO2排出量削減を打ち出した環境政策は、当然のことながら住宅・建築にも波及し、エネルギー消費を抑えたエコロジー建築へとシフトしてきています。数多く残るフランス古来の建造物の美しい街並みと、持続可能な社会に歩み出したエコロジー建築の姿を現地スタッフの解説を聞きながら、こちらから歩むべき日本の未来の建築として、旅を共にする仲間と一緒に考えを深めてみませんか。



フランス「環境・エネルギー」

～ 持続可能な社会へ ～

2007年に開催された「環境グルネル会議」により、フランスは「持続可能な発展」へ向け積極的に行動を開始しました。2009年に制定された方針は、2020年までに持続可能な経済を続けながら、エネルギー消費を75%減らすことを目標に掲げています。

サルコジ大統領は、エコロジー・持続可能な発展・国土整備省を設置し、環境・建築・運輸までを管轄させると同時に、地球温暖化防止・気候問題・CO2排出削減などの問題を解決する推進役を担っています。建設分野では、エネルギー消費量の約4割を占める住宅、建物は省エネルギー推進のカギを握るといわれています。政府は新築建造物の規制を強化するとともに、既存の建物の省エネルギー改革促進に向けた支援などを行い、エネルギー効率が基準に満たない商品を市場から撤廃する方針を掲げました。全ての新築住宅は、省エネルギー住宅への切り替えを狙った優遇制度や、公共建造物では低エネルギー消費技術を用いたエネルギー・ポジティブ（エネルギー生産量が消費量を上回る）な建物とするように義務づけています。



人口約219万人、世界屈指のメガシティ「パリ」
環境を考えた都市開発が進んでいます



都市再開発地区「ラ・デファンス・パリ」



セーヌ川から見たエッフェル塔

POINT 1

関係者の解説付きで豊富な エコロジー視察物件

建築に携った関係者が合流し、コンセプトや構造、性能を説明してくれます。建築に関わった現地スタッフから貴重なお話が聞ける機会です。

POINT 2

エコロジー住宅・建築を 肌で感じる

そこに暮らす人々や建築士の立会いのもと、エコロジー住宅・建築を視察します。現地の人々との交流や、暮らし方を肌で感じていただけます。

POINT 3

同じ志を持ったツアー仲間と 共にする旅

日本の未来の建築を考える志の高いツアー仲間との旅は互いに共感することばかり。だからツアーに参加された方々は、帰国後も交流を持たれています。

新築建物を対象とした環境改革計画

- 2010年 ・高いエネルギー性能を求める規制への切り換え、新しい建物のエネルギー消費を1/3に抑えることを目標
 - ・白熱電球の使用を禁止
- 2012年 ・全ての新築住宅に低エネルギー消費を適用(50kWh/㎡)
 - ・既存住宅40万戸にエネルギー効率改善を施す
- 2020年 ・全ての新築住宅にエネルギー・ポジティブを適用
 - ・1㎡当たりのエネルギー消費量を15kWh未満とする



フランスってどんな国？

フランス・パリのイメージといえば文化、芸術の中心、ファッションは繊細でエレガントの象徴でもある。フランス人の食に対するこだわりはフランス料理を芸術の域まで高めました。そんなフランスでは、愛国心が強く自国語であるフランス語を大事にするというイメージがあります。では、フランスでの暮らしとはどういったものでしょうか？ここではほんの少し生活や暮らしについての側面からフランスをご紹介します。

子育てに優しい国 フランス

少子化に歯止めが利かない日本、同じ悩みをもつ先進国の中、一貫して高い出生率を誇っているのがフランスです。そこには、豊かで充実した子育て支援「家族政策」があるからといえます。家族政策の目標の一つは家族が生活と職業をより良く両立できるよう援助することにあります。政策の主な内容として手厚い家族手当や、家族が多くなるほど負担が少ない税制の導入、また決め細かな育児サービスが受けられます。従って、フランスでは高い出産期女性の労働力率 80%と、高い合計特殊出生率 2.07 人/女性（日本は 1.37 人/女性）を誇っているのです。

フランスが取り組む食の安全

美食の国フランスでは、消費者の健康を最優先に考え、農業政策を柱に食の安全対策を打ち出しています。食料自給率 122%を誇るフランス、その広大な農地の生産量はEUの20%を占めています。世界第三位の農産物、食品の輸出国であるフランスは「農場から食卓まで＝生産者から消費者（食卓）まで」と言われる食品管理が重要な役割を担う今日、フランス政策は3つの関係省庁（農業・厚生・消費）を通じて食品の安全管理を行っています。また、サルコジ大統領は「環境グルネル会議」において、2020年までに危険農薬使用の50%の削減を目指し、農業全体に占めるオーガニックの割合を増やすとともに、2012年までに学校給食の20%をオーガニック食品にするという意欲的な計画を打ち出しています。



France Paris Eco-bau Tour 2011



視察先ミニ情報

France Paris Eco-bau Tour 2011

9/20 TUE 元変電所のリノベーション



建築家 Emmanuel Saadi 氏により 2007年にリノベーションされたオフィスビル。建物全てのガラス面には45,000個もの太陽電池モジュールがはめ込まれ、毎年60,000kWhもの電力を生産します。また、太陽電池モジュールは、日除けやプライバシー保護として機能するほか、現代的なステンドグラスのようでもあり既存の建物との調和が図られています。

9/22 THU パッシブハウス・木造オフィスビル



Alto Ingenierie社は、環境プロジェクトの包括的なアプローチとして、建物全てのライフ環境を考慮し、環境に与える影響や地域・地球に及ぼす環境負荷を削減する為に取り組んでいます。

- ・健康で快適な環境を目指す
- ・建物及ぼす環境への影響を制限する
- ・再生可能な資源によりエネルギーを最適化する
- ・エネルギー消費量やCO2の削減

9/23 FRI Fre quel-Fontarabie, パリ



建築家 Pascal Gontier 氏によるパッシブハウス。高品質の健康と快適さを提供しながら、パッシブハウスのエネルギー性能基準（冷暖房負荷が15kWh/m²）以下の目標を意欲的に掲げ冷暖房負荷13kWh/m²を実現しています。

9/23 FRI ZAC Pajol



2013年に完成を目指す革新的なプロジェクト ZAC Pajol はエネルギー消費量と廃棄物排出量を削減し、環境への影響を最小限に抑えるために設計されています。約3,500m²にもおよぶソーラーパネルを設置し、ダウンタウンに建てられる最大規模の太陽光発電プラントとなります。

France Paris Eco-bau Tour 2011

Tour coordinator Profile

ツアーコーディネーター & コンダクター
ホルガー・ケーニッヒ
Holger König



1951年ミュンヘンに生まれる。ミュンヘン工科大学、および同大学院で建築を学ぶ。1983年エコロジー・建材店および家具工房の「ホルツ・ケーニッヒ」を設立。

また、妻とともにケーニッヒ＝フェリケウス建築設計事務所を主宰し、パウビオロジー・パウエコロジーを踏まえた住宅、幼稚園、学校を数多く手がける。建築家、家具職人、建材流通といった多様な経験を経て、1996年より「エコ・プラス社」を設立し、建材の品質認定およびコンサルタントに携わる。

主な著書は「健康な住まいへの道パウビオロジーとパウエコロジー」(建築資料研究社2003)、「断熱材とその利用法」、「小屋裏空間」(1996, Freiburg)などがある。

主催

第15回エコバウ建築ツアー実行委員会

実行委員会事務局

株式会社 イケダコーポレーション

旅行手配：JTB法人営業大阪支店

運営：株式会社 イケダコーポレーション

昨々までのエコバウツアー体験記はホームページをご覧ください

<http://www.iskcorp.com>